

# 第15回先端医療技術セミナー

先端医療開発センター長 村尾 孝児

## テーマ：3次元細胞培養

日時：平成27年9月10日（木）17:00～18:20

場所：香川大学医学部附属病院 検査部 技師室

### タイトル 1

スフェロイド培養法と細胞数増減測定法・ATPアッセイの最適化  
演者：東洋ビーネット (株) 山岸 豊

#### [内容] 30分

スフェロイド培養法の基本的なポイントと細胞数の増減判定で誤認を招く因子を紹介し、正しい選択基準を試験視点からご提案します。

提示実例として、スフェロイド培養と通常培養の差異、ATPアッセイ法と他法との比較を予定しております。

### タイトル 2

3次元培養の意義と最適な培養基材のご提案  
演者：住友ベークライト (株) 佐倉 武司

#### [内容] 30分

再生医療分野（iPS細胞）、抗がん剤薬効評価（ガン細胞）、薬物動態・細胞毒性評価（肝臓細胞）などの分野で3次元培養で実験を行うことにより平面培養には無い特性が得られることが分かっている。今回はそれぞれの分野に最適な培養基材と実施例などを紹介する。

### タイトル 3

高速3D細胞スキャナーCell3iMagerによるスフェロイドイメージング  
演者：(株) 島津製作所 江連 徹

#### [内容] 20分

Cell3iMagerは、スフェロイドを高速にスキャンし、そのサイズや形態から細胞の増殖や減少を正確に計測する装置です。従来の検査試薬を必要とせず、非破壊・非侵襲で、同一スフェロイドの経時的な変化が計測可能です。今回は、薬剤スクリーニングや毒性試験、再生医療の分野でも注目される3次元培養に最適な本装置をアプリケーションを交えながらご紹介いたします。

連絡先：香川大学医学部附属病院先端医療開発センター  
事務：clinilab@med.kagawa-u.ac.jp 内線：3666